

科目名	企業実習Ⅱ Factory Training Ⅱ	科目コード	21389
-----	-----------------------------	-------	-------

学科名・学年	電気電子システム工学科・4年（プログラム1年）
担当教員	全教員（電気電子システム工学科）
区分・単位数	履修単位科目・選択・2単位
開講時期・時間数	前期，60時間【内訳：講義0，演習0，実験0，その他60】
教科書	
補助教材	
参考書	

【A. 科目の概要と関連性】

受け入れ先と学生間の事前了解の元に、企業、官公庁、非営利団体などにおいて、2週間の就業体験をする。これにより職業意識と自己能力を涵養し、適正の客観的評価を図るとともに、将来の進路決定にも役立つ。

○関連する科目：創造研究（当該年度後期履修），卒業研究（次年度履修）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(F)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
①企業等の仕組みや仕事の流れ、仕事場における人間関係などの理解を深める。	40%	(f1)
②これまで学んだ知識と実際の企業現場における関連性を確認する。	40%	(f2)
②企業等での実体験を通して、これから学ぶべき課題や方向性を見出す。	20%	(f2)

【C. 履修上の注意】

実社会の見聞を広め、職業意識を涵養するよい機会であるから積極的に行動すること。また受け入れ先で秘密の業務を負うことがあるなど、責任感を持った学生が期待されているので、その心構えをしておくこと。授業計画・内容 受け入れ先において、予め設定されたテーマとスケジュールに従い、指導者の指示のもとに実習を行う。

1. 5月～6月頃、企業名、受け入れ人数、実習期間、申込期限等の情報を掲示する。
2. 希望する企業等が確定したら者から書類を整え、逐次申請する。
3. 夏季に2週間にわたり、相手先企業等で実習を行う。
4. 実習報告書を相手先企業等に行い、実習を終了する。
5. 高専に戻り実習終了の報告を実習担当者に速やかに行い、報告書を早めに提出する。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 定期試験（0%）
- その他の試験（0%）
- レポート（0%）
- その他（100%）【実習への取り組み：50%，報告書：25%，発表：25%】

【E. 授業計画・内容】

月	内容	備考
4	資料収集, 希望先の検討	
5	資料収集, 希望先の検討	
6	実習希望先の決定, 準備	
7	実習前の準備	
8	企業実習	
9	企業実習, 報告書作成, 発表会	